

ふりがな 氏名	いしかわ えみ 石川 恵美	職名	講師
取得学位	修士	学会での受賞歴	
主な担当科目	看護学援助論Ⅰ、看護過程、基礎ゼミナール、成人看護学実習Ⅰ(慢性期)		
所属学会	日本医療マネジメント学会、日本看護管理学会、日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本ヒューマンヘルス学会		

◆ 教育業績

事 項	実 施 年月(日)	概 要
基礎ゼミナール	令和元年 9 月～令和 2 年 1 月 令和 2 年 9 月～令和 3 年 1 月	1年生(食物栄養科と看護科)に調べ学習、討議、まとめ、発表の指導を行った。
医療安全学	令和元年 11 月 11 日～ 令和元年 11 月 8 日	理学療法学科 1 年生対象にインシデントの紙上事例を元に、グループワークにてKYTを実施し、ロールプレイにてKYT結果の発表を行い意見の共有を行った。
成人看護援助論Ⅰ(慢性期)	令和 2 年 9 月～令和 4 年 1 月	「放射線療法を受ける患者」「慢性閉塞性肺疾患患者」の紙上事例を用いて、セルフマネジメントを必要とする患者への実践的な看護方法についてグループ毎にロールプレイでの発表の支援を行った。授業上必要な資料、課題は事前にWEB上に掲載し予習・復習に活用できるようにしている。
看護過程	令和元年～ 令和 4 年	看護学科 6 名の学生の看護過程展開に対し、質問への回答、グループワークにて学びの共有を行った。
成人看護学実習(慢性期)ガイド作成	令和 2 年～ 令和 4 年	令和 2 年度から使用する成人看護学実習(慢性期)のガイドを作成した。
成人看護学実習Ⅰ(慢性期)の実習指導要項、実習指導ガイド作成	令和 3 年 令和 4 年	臨地実習の目的・目標・方法を明示した冊子を活用し、オリエンテーションを行い、実習の準備と実習時に提示し学習の指導を行なった。
第 25 回日本腎不全看護学科学術集会研究演題査読	令和 4 年	第 25 回日本腎不全看護学科学術集会研究演題の査読を行った。
日本看護研究学会第 27 回東海地方学術集会実行員	令和 4 年	日本看護研究学会第 27 回東海地方学術集会実行員の業務を行った。

◆ 研究業績

区分	著書・論文・発表テーマ・作品・演目などの名称	単・共	発行・発表年月(日)	発行所 / 誌名・巻号 / 学会・展覧会・演奏会の名称(会場名)	備考
研究報告	看護師職務満足度とその関連要因—改訂版看護師職務満足尺度の応用研究—	共	令和3年7月	日本ヒューマンヘルスケ学会誌、第6巻(通巻9号)p67-76	楠本順子、 <u>石川恵美</u>
学会発表	「患者トラブル(迷惑行為・対応困難なクレーム)を抱えた看護師長の葛藤」(口頭発表)	共	令和元年11月	第20回人間福祉学会(岐阜県)中部学院大学	大竹美紀、山田静子、相原晶子、 <u>石川恵美</u> 、楠本順子、山田美由紀、第20回人間福祉学会抄録p40
	「看護師長のフォローシップ」(口頭発表)	共	令和元年11月	第20回人間福祉学会(岐阜県)中部学院大学	<u>石川恵美</u> 、大竹美紀、山田静子、相原晶子、楠本順子、山田美由紀)第20回人間福祉学会抄録p41
	「臨床現場における看護師が体験する看護倫理問題について 第1報 4年間のまとめ」(ポスター発表)	共	令和元年11月	第39回日本看護科学学会(石川県)	大竹美紀、 <u>石川恵美</u> 、山田静子、楠本順子、相原晶子、第39回日本看護科学学会抄録集、PC-18-02
	看護学生の大学入学動機と自己効力感・動機づけ・学習行動との関連	共	令和2年12月	第40回日本看護科学学会(オンライン開催)	<u>石川恵美</u> 、大竹美紀、山田静子、宮田延子、三吉友美子、楠本順子、第40回日本看護科学学会抄録集、P2-138
	看護大学生の入学時動機・自己効力感・動機づけ・学習行動の県別比較	共	令和3年11月	第21回人間福祉学会	<u>石川恵美</u> 、大竹美紀、山田静子、宮田延子、第20回人間福祉学会抄録p31